

第6学年＊組 社会科学学習指導案

指導者 大月 悠輔

1 単元 世界に歩み出した日本

2 単元の見積

- 二つの戦争, 条約改正, 科学の発展, 産業の発展や, それらに関わる人物の働きなどに関心をもち, 意欲的に調べようとする。(社会的現象への関心・意欲・態度)
- 二つの戦争, 条約改正, 科学の発展などの関わる人物の業績が, 日本の国力の充実と国際的地位の向上に果たした役割を, 様々な立場からの思いや願いを基に考え, 表現することができる。(社会的な思考・判断・表現)
- 二つの戦争, 条約改正, 科学の発展などに関わる人物の働きについて, 必要な情報を集め, 読み取ることができる。(観察・資料活用 of 技能)
- 二つの戦争, 条約改正, 科学の発展などに関わる人物の働きによって, 日本の国力が充実し, 国際的地位が向上したことを理解することができる。(社会的現象についての知識・理解)

3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 of 技能	知識・理解
①二つの戦争, 条約改正, 科学の発展や, それらにかかわる人物の働きに関心をもち, 進んで調べようとしている。	①国力が充実し, 国際的地位が向上したことや, それらにかかわる人物の願いや働きについて思考・判断したことを, 言語などで適切に表現しようとしている。 ②それぞれの項目について, なぜそのようなランキング付けをしたのかを, 根拠のある理由を示しながら説明しようとしている。	①二つの戦争, 条約改正, 科学の発展や, それらにかかわる人物の働きを資料を活用して必要な情報を読み取っている。	①我が国の国力が充実し, 国際的地位が向上したことや, それによって人々の生活や社会が変化したことを理解している。

4 単元の指導について

本単元は, 明治中・後期から大正期における, 日清・日露の戦争, 条約改正, 科学の発展などの歴史的な事象を取り上げ, これらを具体的に調べることを通して, 我が国の国力が充実し, 国際的地位が向上したことが分かるようにすることをねらいとしている。(教材観)

本学級では, 10問復習テストや重要用語確認テストを定期的に行い, 知識の定着を図っている。そのため, 児童は一問一答形式の問題に慣れ, 用語をしっかりと覚えようとする意識は高い。テストの結果を見ても, 知識・理解を問う問題に関しては, 概ね満足できる結果といえる。しかし, 思考力・判断力・表現力を問う情報を基に社会的現象について説明する問題に関しては, 解答できない児童が見られる。(児童観)

本校では, 「根拠をもって説明できる児童の育成ーコミュニケーション能力を育てる授業の追究ー」を目指して 研究に取り組んでいる。そこで本単元では, 先人が当時の世の中の課題を解決し, 日本の発展に尽力していったことを調べたり, 調べたことをまとめたりする活動を通して, 先人が果たした役割について考えさせたい。具体的には, 「先輩方! ここがすごいぞ!! シート」, 「勝手に決めよう! すごい人ランキングシート」を用いて歴史的根拠を基にして先人が日本の発展に果たした役割の大きさを価値付けし, ランキングする活動を設定する。まず, 個人で資料から読み取った情報を基に「勝手に決めよう! すごい人ランキングシート」を作成する。次に, 小グループ内で先人の業績をランキング付けした理由についてお互いに読み合う活動を取り入れる。これらの学習活動により, 先人が日本の発展に果たした役割について, 具体的な根拠を基に説明することができる考えた。(指導観)

5 指導計画 (8時間扱い)

- 第1次 学習課題を設定する・・・1時間
- 第2次 先人の業績について調べる・・・5時間
- 第3次 先人の業績を価値判断 (ランキング) する・・・2時間 (本時)

時	学習内容・活動	関 思 技 知	観点別評価規準
1 (本時)	・前時までに作った「先輩方! ここがすごいぞ!! シート」をもとに, 「勝手に決めよう! すごい人ランキングシート」にランク付けとその理由を書く。 ・小グループ内でお互いに「勝手に決めよう! すごい人ランキングシート」を読み合い, ランキング付けと理由について改めて検討させる。	①	児童それぞれが各項目について, なぜそのようなランク付けにしたのかを, 根拠のある理由を示しながら説明している。 (観察・ワークシート)

2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループ内で意見交換をして、5人の先人をランク付けする。その結果を「勝手に決めよう！すごい人ランキングシート（グループ編）」にまとめる。</li> <li>・根拠を示しながら説明できるように、発表への準備をする。</li> <li>・ランキングの結果とその理由について、班ごとに順番に発表をする。</li> </ul>	②	<p>5人の先人について、なぜそのようなランク付けにしたのかを発表する中で、先人の働きについて関心をもっている。</p> <p>(観察・ワークシート・発表)</p>
---	--	---	--

## 6 本時の指導

### (1) 目標

先人が日本の発展に果たした役割について、作成したランキング表を基に根拠を示して説明することができる。

### (2) 準備・資料

- ・先輩方！ここがすごいぞ！！シート（前時までに作成済み）
- ・勝手に決めよう！すごい人ランキングシート ・付箋

### (3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>日本の発展のために一番活躍した人は誰だろう。</p> </div> <p>2 価値判断（ランキング）について考える。</p> <p>(1) 明治期に活躍した5人の先人を「日本の発展」というキーワードを基に価値判断（ランキング）する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸奥宗光</li> <li>・小村寿太郎</li> <li>・野口英世</li> <li>・東郷平八郎</li> <li>・田中正造</li> </ul> <p>(2) それぞれの価値判断（ランキング）について、根拠のある理由を書く。</p> <p>3 価値判断（ランキング）した結果について、小グループで共有する。</p> <p>(1) 時計回りの順にワークシートを回覧して、手元に自分のものが戻ってくるまで続ける。</p> <p>(2) 自分が気付かなかった点や納得する記述がある場合には付箋にメモを残す。</p> <p>(3) 付箋に残したメモを基に、価値判断（ランキング）とその理由について再考察する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【記述例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の発展のために一番活躍した人は陸奥宗光だと思う。それは陸奥宗光はあんなに強いヨーロッパの国々に治外法権の撤廃を認めさせたから</li> <li>・日本の発展のために一番活躍した人は野口英世だと思う。野口英世が黄熱病の研究で世界的に活躍し認められたことで、外国から日本が発展している国と思われたから</li> </ul> </div> <p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>(1) 最終的な結果を発表する。</p> <p>(2) 次時の内容を確認し、あいさつをする。</p>	<p>・それぞれの人物に関連する絵、写真を貼り、前時までの内容に関する質問をして、正しく答えられた児童を賞賛することで、意欲を高める。</p> <p>・今を生きる自分たちの目から見て、すごいと思うことに目を向けるように促す。</p> <p>・前時までに調べた先人の業績を基に考えるよう指示する。</p> <p>・判断が付かない児童には机間指導の中で、どの人が最も日本のために活躍した人かを考えるよう促す。</p> <p>・先人の人数については、学習指導要領を基に教師が選出した5人とする。</p> <p>・価値判断した理由は、「もし～がいなかったら、日本は・・・と思うから。」という文脈で書くように指示をすることで、自分の考えとその根拠を明確にする表現の仕方を身に付けさせる。</p> <p>・手順やマナーを事前に確認することで、円滑に情報共有ができるように配慮する。</p> <p>・できるだけ多く付箋に記録を残すように声をかけ、自分の考えを広げるように促す。</p> <p>・机間指導を通して、説得力のある説明になっているのかを確認し、助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>それぞれの人物について、なぜそのようなランキングを付けたのかを、根拠のある理由を示しながら説明することができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p> </div> <p>・誰が一番にしたかが問題ではなく、どんな理由で一番にしたかが大切であることを助言する。</p> <p>・机間指導をして、価値判断（ランキング）が異なっている児童を指名し、発表させる。</p> <p>・次時の内容を伝え、めあてをもたせることで、意欲を継続させる。</p>